(様式第3号)

企業・団体名(竹花工業株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.9.5変更】

カ)							Ì	なSD	Gs (17ゴ-	ールと	<u> </u>	ター	ゲット	·)関	連項目	<u> </u>	-	٦
7	-	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1	2	3	. 5	6	7	8	9	10	11	12 1	3 14	1 15	16 1	7
リコリ	ĵ J	当	ノエクノ残日	レベル	併せて記載してください。)	13% 36880	#	430000 -W.∳	 (§	Å	7	e trac	9 HATE!	10 steam	A 4	∞ •	D Nation	E HIPTO	15 mm; ★	2011 B
1		0	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用条件で差別しない体制を作るように、責任者会議で周知している。				5. 5. 5.	2		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
2		0	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本	・ハラスメント防止のめに、責任者会議で注意を呼びかけ、全社員への周知を行っている。				5. 5. 5.	2		8.5 8.8							16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容について、責任者会議等で 周知している。 ・部門長による部員の残業時間把握を行い、長時間労 働者に対し、業務改善を検討している。							8.5 8.8								
4		D	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・国籍に関係なく採用募集を行っている。また、適切な 処遇や労働環境の整備を行っている。			4	4			8.7 8.8		10.2 10.3						
5 人 格		נו	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生委員会を組織し、月1回の現場パトロール及び安全衛生会議を開催し事故防止に取り組んでいる。 ・年2回外部講師等を招き、安全大会を開催している。			3				8								
· 分 6 働		0	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・安全衛生会議において、産業医の指導を受けている。 ・全社員へのストレスチェックを実施し、高ストレス者に対しては産業医への面談を呼びかけている。			3												
7		П	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本	・高齢者の継続雇用制度の規定を明記している。 ・女性社員の積極的な役職投与を実施している。 ・障害者雇用の推進を図っている。				5. 5.			8.5		10.2 10.3						
8		L	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・部者ととに人材育成計画を作成し、積極的に試験や外部講習会への参加を促している。 ・会社において、試験、講習会の費用負担を行ってい				5.	5		8	9							
9		Е	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パート社員に対し、正社員への転換希望がある場合の 公募を掲示している。				5.	5		8.5		10.2 10.3						
10		0	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ	・全国健康保険協会(協会けんぽ)に対し、健康づくり チャレンジ宣言を行っている。			3				8								
11		Е	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・EA21の活動に基づき、廃棄物の排出量、種類を集計し、削減目標を定めて管理している。										11.6	12.4	14.	1		
12 環		L	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・EA21の活動に基づき、自社の排出量を把握すると共に、削減計画を作成している。						7.3					1	13			
增 13	ŧ		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・EA21の活動に基づき、自社の排出量を把握すると共に、削減計画を作成している。						7.2 7.3					12.4 1	3.3			
14		С	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本	・現場、工場で使用する化学物質の使用量を把握し、 削減目標を立てて管理している。			3.9		6.	3				11.6	12.4				

	カ							主な	SDGs	(17	7ゴー					ット)関連項目											
	テ	非該	チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	2 3	4	5	6	7		9		11 1	_	_	_		_							
	ゴリ	当		レベル	併せて記載してください。)	interior 2 m	3 6574 -44/	4 EE M	5 harm ©	A.	*	8 222	a meeter B	10 tetter# 1 4 ⊕►	A C	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	i 34 88 €	15 to 1 ***	18 TOLES	0 ≈ ≈ 3							
15		L	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物 多様性保全に配慮している。					6.6								15									
16		Е	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・県と3R実践協定を締結し、現場での廃棄物の削減、 再利用を推進している。										12	2.5	14.	.1									
17		С	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ	・自社の水使用量を把握し、使用量削減目標を立てている。(EA21活動に準じる)					6.4 6.6																	
	環 境	L	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得してい る	チャレン ジ	・エコアクション21を取得している。		3.9)		6	7				1	2 13	3.3 14	4 15									
19		t	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ	・EA21の活動をもとに環境経営レポートを作成し、自社ホームページにて活動内容を公開している。										12	2.6											
20		L	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ	・本社社屋屋上に太陽光パネルを設置し、再生エネルギーの利用を行っている。						7.2					1:	3										
21		t	【天然資源の持続的利用】・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ	・天然資源の利用推進を呼びかけると共に、お客様に対してのVE提案にも取り入れている。										12	2.2 1	3 14	4 15									
22		П	【汚職・贈収賄防止】・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職、贈収賄禁止について各種会議で周知している。														16 16.5								
23		ш	【公正な競争】・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	·不正競争行為に関与しないように各種会議で周知している。														16								
24		ш	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産の取得はないが、侵害をしないよう配慮している。							8.2 8.3	9														
25	公正な事業	0	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報の取り扱いについて徹底するように、社内各種会議において周知徹底を図っている。														16								
26	大慣行	ı	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレン ジ	【予定】紛争鉱物を確認するための体制を構築する。														16								
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	管理職における、サプライチェーン管理についての社内 勉強会を開催している。				5			8		10	1	2 1	3 14	4 15	16	17							
28		0	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。		3					8	9	10						17							
		жГ <i>г</i> 3	ートナーシップ構築宣言 Iの作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.ip/	/																							

	1				<u> </u>				主な	SDGs	(17	ゴー	ع بال	169	ターゲ	・ット) 関	連項	<u> </u>		\neg
	非		チェック項目	取組	具体的な取組	1	2		4	5					10					16	17
	*	当	アエック項目	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	100 3666	3:2	3 mmi -4√4	4EEM Mili	5 200 PT	Å.) (**)	****	S ELECTOR	10 center* 11	2 4 C	# NO ■ # # # # # # # # # # # # # # # # # #	¥## X	15 ta **	18 TOUR X	⊽ === ∓
29	L	_	【製品・サービスの安全性】・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・想定されるリスク、QCを把握し、改善対策の周知を 図っている。			3.9								1	2.4				
製 30 ・ サ-	Е	=	【品質保証】・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001を取得しており、自社のマニュアルに基づき、 品質管理の徹底を図っている。									9							
31 Z	C.		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレン ジ	・建設現場や試験で残った残コンクリートを利用した入空 ブロックの作成を行っている。 ・一般住宅において、全館空調や太陽光発電など環境 リー配慮した設計 ブランの場をなどつている						6						12 1	3 1	4 15		
32	С	=	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレン ジ	・社会課題、顧客満足をテーマに各部署ごとにテーマを持って活動を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 1	12 1	3 1	4 15	16	17
33	-		【地域への配慮】・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・QC報告書により社内外のクレーム影響を把握し、改善に努め社内周知している。				4					9		11 1	12	1-	4 15		17
地域貢献	= 1	_	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の除融雪、災害対応、地元公園の植樹維持のための除草作業を行っている。 ・市の消防団協力事業所表示制度へ加入している。 ・地元小中学校の音楽活動に対する寄付を実施している。				4							11		1	4 15		17
35	١		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・地元木材の利用など、地域資源の積極的な利用を推進すると共に、顧客に対しVE提案している。								8	9		11 1	12 1	3			
36	п		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・月1回の全体朝礼において、社是の唱和を実施している。 ・経営目標については、年2回の幹部合宿にて、社長より発表があり、各部門を涌して全従業員に周知してい								8	9							17
37	Е		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本	・法規制等取りまとめ表を作成し、法令遵守の徹底を 図っている。															16	
38	С		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本	各部署ごとに担当者を選任してもらい、・ISO、EA21、B CP、安全委員会などの組織体制を構築している。															16	
39 組織	L	-	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼ す影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・顧客満足度調査(アンケート)の実施や、CS(顧客満足)活動の展開を通して、改善活動に努めている。															16	17
40 制			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・各部署ごとに想定されるリスクを把握し、予防処置を検討している。															16	
41	0		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づ き企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んで いる	チャレンジ	・全ての利害関係者を顧客と捉え、部署ごとに改善活動 (CS活動)に取り組んでいる。															16	
42	П		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ	・事業継続計画(BCP)を策定し、関東地方整備局の認定を受けている。									9		11	1	3 3.1		16	
43	0		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン ジ	・後継者候補がいる。 ・外部コンサルを招き、後継者育成教育を実施してい る。								8	9							17

1 2 3

具体的な取組

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載 いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGA NOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成 推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<mark>赤字</mark>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定